

相談するならどのような方法がいいですか？あてはまるものすべてをマークしてください。

- メールによる相談
- FAXによる相談
- 対面での相談
- その他（ ）

以下について相談したいと思いますか？相談したい場合は、相談したい相手もおしえてください。
それぞれについて、あてはまるものすべてにマークしてください。

相談内容	主治医	主治医師以外	相談相手							
			精神科医・心療内科医	保健師・看護師	ソーシャルワーカー	カウンセラー	心理患者や家族	他の患者や家族	その他	必要ない
治療について相談したい	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
社会福祉制度（保険など）について相談したい	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
心配事を聞いてほしい	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
支えになつてほしい	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
その他（ ）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

情報提供やご相談をお受けたりする以外の、患者さんへの支援について検討しています。
以下に、生活や人生において重要な一般的に言われている項目をあげました。これらのなかで、
あなたが現在、欲しいものやしたいこと、さらには望むことは何ですか？あてはまるものすべて
をマークしてください。また、その他の場合は、具体的にお書きください。

- 健康 ○ 睡眠・休息 ○ 生活
- 時間 ○ 好きなものを食べたり ○ 仕事や仕事の充実
- 子どもや親の身の回りの世話 ○ 飲んだりすること ○ 生活費や治療・療養
に関わる費用 ○ 安定した暮らし ○ 安定した暮らし
- 社会福祉制度の充実 ○ ボランティアなどのサークルやおけいここと、趣味の集まり ○ 趣味・レジャー・
社会福祉活動や地域活動 ○ 子ども・孫 ○ 親しい友人・知人
- 配偶者・恋人 ○ 職場・恋愛活動・社会活動などの仲間や知人 ○ 容姿や見た目の良さ ○ 将来への希望・展望
- 職場・恋愛活動・社会活動などの仲間や知人 ○ 人からの手助けを受けること ○ 人の役に立つこと
○ 自分をしつかり見つめること ○ その他（ ）
- 今あるもので十分 ○

乳がんになつたことと関連して、これまでに困ったことがありましたら、ご自由にお書きください。

IV. 研究成果の刊行に関する一覧表

研究成果の刊行に関する一覧表

雑誌

発表者名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
Iwasaki M, Hamada GS, Nishimoto IN, Netto MM, Motola J Jr, Laginha FM, Kasuga Y, Yokoyama S, Onuma H, Nishimura H, Kusama R, Kobayashi M, Ishihara J, Yamamoto S, Hanaoka T, Tsugane S.	Dietary isoflavone intake, polymorphisms in the CYP17, CYP19, 17 β -HSD1 and SHBG genes, and risk of breast cancer in case-control studies in Japanese, Japanese Brazilians, and non-Japanese Brazilians.	Nutr Cancer	62	466-75	2010
山本精一郎	がん臨床試験の生物統計学	産科と婦人科	77(5)	495-502	2010
溝田友里, 山本精一郎	乳がん疫学の最新の動向	最新医学	65 (6月増刊号)	1251-63	2010
山本精一郎	研究倫理と被験者保護:国内外における現状と今後の方向性.	血液・腫瘍科	60(5)	667-72	2010
Toi M, Ohashi Y, Sweow A, Moriya T, Tse G, Sasano H, Park BW, Chow LWC, Laudico AV, Yip CH, Ueno E, Ishiguro H, Bando H.	The Breast Cancer Working Group Presentation was Divided into Three Sections: The Epidemiology, Pathology and Treatment of Breast Cancer.	Japanese Journal of Clinical Oncology	40 (Supplement 1)	i13-i18	2010
Iwasaki M, Inoue M, Sasazuki S, Sawada N, Yamaji T, Shimazu T, Willett WC, Tsugane S.	Green tea drinking and subsequent risk of breast cancer in a population based cohort of Japanese women.	Breast Cancer Res	12	R88	2010

